

## ハートキャッチボール

### 1. 本パッケージのねらい

2年生になった当初、もとのクラスの友だちとばかりかたまっている様子が見られた子どもたち。しかし、毎日の朝遊びなどを通して、いろいろな友だちと遊べる子が増えてきた。アンケートからも、「休み時間は友だちと楽しくすごしている」などの項目は高い割合を保っており、人間関係が広がってきたことをうかがわせる。その一方で、「嫌なことをされる」の項目は、20%も増えており、人間関係が広まることにより、実際の生活の場面で、トラブルが増えているのではないかと思われる。

この原因の一つは、自分の気持ちがうまく出せないことにあるのではないかと感じている。見ていると、気持ちの出し方が適切でなかったり、相手に不快な気持ちを与える出し方になっていることが多いように思われる。このパッケージでは、自分の気持ちを素直に伝えること、それに対してきちんと受け止めることの大切さが実感できるワークを、実際の場面に即して取り入れ、よりよい人間関係を築く手立てを身につけてほしいと思う。

### 2. 『ハートキャッチボール』パッケージ全体を通しての目標（ターゲットスキルとねらい）

#### \* 対人関係

- ・自分の気持ちを、素直に、ことばで伝えることができる。

#### \* コミュニケーション力

- ・相手の気持ちを受け止め、相手を傷つけないように、ことばで返すことができる。

### 3. 『ハートキャッチボール』パッケージ全体の流れ

#### 第1時・・・「気持ちいろいろ」

アイスブレーキング：「えがおできょうも」

メインエクササイズ：「気持ちいろいろ」

#### 第2時・・・「『腹が立つ』をつたえよう」

アイスブレーキング：「えがおできょうも」

メインエクササイズ：「『腹が立つ』をつたえよう」

#### 第3時・・・「『さみしい』をつたえよう」

アイスブレーキング：「えがおできょうも」

メインエクササイズ：「『さみしい』をつたえよう」

#### 第4時・・・「気持ちをキャッチ」

アイスブレーキング：「えがおできょうも」

メインエクササイズ：「腹が立つ」気持ちにことばで返そう

#### 第5次・・・「気持ちをキャッチ」

アイスブレーキング：「えがおできょうも」

メインエクササイズ：「うれしい」気持ちにことばで返そう

### 4. 実施時期

2年2学期。

### 5. 本時の流れ

#### 【本時のターゲットスキル】

コミュニケーション力・対人関係

#### 【本時のねらい】

1) 相手の気持ちを受けとめることができる。

2) 受けとめた気持ちを相手を傷つけないようにことばで返すことができる。

時間	活動の流れ（教員の教示・子どもの反応と動き）	留意点・教具等
ウォーミングアップ	5分 あいあいタイムの「4つのあい」を確認する。 「えがおできょうも」をみんなでうたう。	
インストラクション	15分 ・前の授業まで、気持ちの出し方・うけとめ方を勉強してきましたね。まずは、はっきりと、じぶんの気持ちを伝えられる「ハキハキさん」になること。それから、しっかりとその気持ちをうけとめてキャッチすることが大切でしたね。 ・では、今日も、気持ちのキャッチの仕方を考えましょう。次の場面を見てください。  <モデリング> ドッジボールをしている。 T1 がボールをうけることができた。 T1 「 さん！はじめてボール受けた！めっちゃうれしいわあ！」 (クッションをやさしく渡す) T2 「あんな弱いボール、とれて当たり前や。」 (クッションを投げ返す)  ・T1さんは、うれしい気持ちを伝えていましたね。それなのに、今のように返されたら、どんな気持ちになるかな。 ・今のT2さんの言い方では、「トゲトゲさん」になってしまっていますね。 ・じゃあ、どう返せばいいかな？T2さんになったつもりで考えてみましょう。 (前で発表してもらう)  ・今のように、キャッチした気持ちは、ハキハキさんになって、返すことが大切ですね。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言い方がきつい</li> <li>・うれしい気持ちが台無し。</li> </ul> <p>トゲトゲさんのお面をかぶせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よかったです</li> <li>・上手だったよ。</li> <li>・おめでとう。</li> </ul> <p>できた子にはハキハキさんの帽子をかぶせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">           ハキハキさんになろう            はっきりと            じぶんのことばで            あい手をきずつけない         </div>

エクササイズ	10分	<p>・今から2人組になって、練習してみます。班で、一人ずつやってもらいますので、自分の班の人をよく見ておいてください。</p> <p>(教師の合図で交代し、全員がまわるようにする)</p> <p>(一回おわるたびに、「ハキハキさん」になって言えていたかどうか、手を挙げて確認する。)</p>	<p>・各班に一人、気持ちを表すボールをわたす。</p>
シェアリング	10分	<p>・感想を聞いてみましょう。やってみて、どうでしたか。</p> <p>(ここでは、あまり深めず、何人かに聞いていく)</p> <p>・ふりかえりカードを書く。</p> <p>(時間をきめて、途中でもえんぴつを置かせる)</p> <p>・発表しましょう。</p> <p>(ここで、さらに深めていく)</p> <p>・では、今日で、カードが完成します。</p> <p>「ハートキャッチボール」という言葉ができましたね。</p> <p>ハート(気持ち)を投げつけ合うのではなくて、ハキハキさんになって、やさしいことばでキャッチボールすればけんかになることもありません。教室で、たくさん、ハートキャッチボールが見られるようになるといいですね。</p>	<p>・楽しかった。</p> <p>・うまくできた。</p>
〔参考文献〕なし			